

2023年9月議会



議会だより 79号

Report of City Assembly

2023年10月発行
(令和5年)



白鳥神社観月祭

令和5年 第5回臨時会

7月25日開会

条例1件、補正予算1件、その他1件の合計3件が提出されました。
議案第1号は民生文教常任委員会に付託されました。

予算

議案第2号

令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第3号)について

補正予算額 521万8千円増額

※丹生コミュニティセンター指定管理者である丹生地区活性化協議会が解散したことにより、指定管理者の指定を取り消し、市が直接管理・運営するための費用511万3千円

※福栄郵便局隣接の駐車場用地借上げに係る費用 10万5千円

その他

議案第3号

指定管理者の指定について

公の施設の名称

東かがわ市湊コミュニティセンター

指定管理者

東かがわ市白鳥536番地1

白鳥コミュニティ協議会

会長 江元 祥晃

指定の期間

令和5年8月1日から

令和7年3月31日まで

令和5年 第6回定例会

9月1日～22日開会

報告6件、認定5件、条例4件、補正予算3件、その他4件、
人事1件の合計23件が提出されました。
議案第1号、第2号、第3号は民生文教常任委員会へ、
議案第5号は予算審査特別委員会へ、議案第7号は総務建設経済常任委員会へ、
認定5件は決算審査特別委員会にそれぞれ付託されました。

条例

議案第3号

東かがわ市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について(民生文教常任委員会付託4ページ)

延長時間の利用料を改正するもの。

改正後	改正前
1回あたり500円	1月につき上限7,500円
30分あたり200円	1月につき上限6,000円

委員会報告では、否決であったが、本会議において賛成多数で原案どおり可決された。

(賛成討論2件、反対討論2件)

賛成討論

- ・少子化対策が、一歩前進する。
- ・利用者の負担軽減につながる。
- ・議案自体の内容では是非の判断をすべき。

反対討論

- ・利用者側に対する説明が不足している。
- ・料金の改定は次期の委託料を考えて改正すべき。

議案第4号

東かがわ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が制定され、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律が一部改正されたことに伴い、関係する条例について、所要の改正を行うもの。

予算**議案第5号**

令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第4号)について(予算審査特別委員会付託6ページ)補正予算額

8億2,828万7千円増額

(反対討論1件)

反対討論

新型コロナウイルスワクチン接種事業のXBB株対応ワクチンは、マウスでの臨床試験しか行われておらず、人への投与は初めてのた

め市民の生命と健康に関わることであるので反対する。

議案第6号

令和5年度東かがわ市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について

補正予算額

2億2,472万8千円増額

歳出として、令和4年度の介護給付費及び地域支援事業費の確定に伴う、国・県等への返還金と介護給付費、地域支援事業及びその他繰入金の超過分を一般会計に返還するもの。また介護給付費等の精算に伴う剰余金について介護保険財政調整基金に積み立てるもの。
歳入として、前年度繰越金、過年度分介護給付費交付金等を計上。

議案第10号

令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第5号)について

補正予算額

640万5千円増額

東讃漁業協同組合の製氷冷蔵冷凍施設が落雷により壊れたため

機器の更新に要する経費に対し補助金を交付するもの。

その他**議案第8号**

訴えの提起について

市営住宅宮の後団地跡地の一部及び市道田の浦線の一部の土地10筆で登記が私有地のままであることが判明し、時効取得を原因とする所有権移転登記を求めもの(移転登記対象者51名)

議案第9号

指定管理者の指定について

公の施設の名称

東かがわ市温水プール

指定管理者

香川県高松市田村町397番地

株式会社 ヤマウチ

代表取締役 岡本 将

指定の期間

令和6年7月1日から

令和21年3月31日まで

議案第11号

工事請負契約の締結について(令和5～7年度古川ポンプ場除塵機

設置工事)

契約金額

2億2,220万円

相手方

高松市郷東町792番地8

株式会社フソウ

代表取締役社長執行役員

角 尚宣

人事**諮問第1号**

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

氏名 岡本 和士 氏

任期 令和6年1月1日から

令和8年12月31日までの

3年間

決算

令和4年度東かがわ市一般会計・特別会計・企業会計決算が提出され、議長、監査委員を除く議員14名で構成される決算審査特別委員会が設置され、審査することを決定した。

審査日 令和5年10月16日

令和5年10月19日

民生文教常任委員会

第5回臨時会で付託された議案の
主な審査の内容は次のとおりです。
審査日 令和5年7月25日

議案第1号

東かがわ市体育施設設置条例の
一部を改正する条例の制定について

第7条の営利を目的とした事業
には利用できない規定について、
都市公園条例では、白鳥中央公園
体育館で屋外コンサートをしたり、
とらまる公園体育館ではキッチン
カーイベントなど、営利目的の
利用も可能であるため、東かがわ
市温水プールの今後の利用等も考
え、営利目的でも使用できる内容
に改正する。あわせて、営利目的
の場合は、都市公園条例と同様に
使用料を5倍、徴収できるように
改正するものと説明を受け、質疑
を行った。

問 今回の使用料の設定について
の積算根拠を伺う。

答 現在の使用料及び他市町の今
の状況を鑑みながら算出した。

問 他市町の状況を鑑みてと言う
ことであるが、その調査方法につ
いてどのようなのか。

答 電話での聴き取り、ホームペ
ージ等での確認を行った。

問 使用料金が市内の人と市外の
人が同じである理由は。

答 施設の特性上、市外の人にも
利用してもらわなければ利用率も
上がらないので、市外の多くの方
にも利用をしてもらうために同一
料金に設定している。

問 年間の利用者数は、どれぐら
い見込んでいるのか。

答 年間40,000人程度見込
んでいる。

問 使用料について、市民の理解
が得られるのか。

答 近隣とも比較しながら使用料
を設定しているので、ご理解をい
ただきたい。

問 温浴料金も使用料の中に含ま
れているのか。

答 使用料の中に含まれている。
ただし、温浴のみの利用はできな
い。

以上、慎重に審査をした結果、
討論はなく、原案どおり可決した。

第6回定例会で付託された議案の
主な審査の内容は次のとおりです。
審査日 令和5年9月5日

議案第1号

東かがわ市手話言語条例の制定に
ついて

手話が言語であることを明確に
位置付け、手話に対する理解の広
がりと社会的認知の拡大を図ると
共に手話を使用しやすい環境整備
を推進し、誰もがお互いに人格と
個性を尊重しあいながら認め合う
共生社会の実現を目的とした内容
の説明を受け、質疑を行った。

問 条例制定にあたり、どのよう
な関係団体と協議をしたのか。

答 県聴覚障害者協会、県視覚障
害者福祉協会、市身体障害者協会、
知的障害者保護者団体等と協議を
した。

問 ろう者への理解は、どのよう
に考えているのか。

答 実効的な方法で情報発信をし
ていく。

議案第2号

東かがわ市障がいのある人の情報
保障及びコミュニケーション手段
の利用促進に関する条例の制定に
ついて

障がいのある人の情報保障及び

コミュニケーション手段の利用促
進に関する基本理念を定め、市の
責務並びに事業者の役割を明らか
にすると共に施策の基本的な方針
を定めることにより障がいの特性
に応じたコミュニケーション手段
の普及及び利用を促進する内容の
説明を受け、質疑を行った。

問 手話通訳者と手話通訳士のち
がいは。

答 手話通訳者は県知事の認定を
受けた人で、手話通訳士は大臣の
認定を受けた人である。

議案第3号

東かがわ市放課後児童クラブ条例
の一部を改正する条例の制定につ
いて

放課後児童クラブの午後6時以
降の延長料金を一回あたり500
円から30分あたり200円で一日
最大で400円とし、上限を一か
月につき7,500円から6,0
00円に改正する内容の説明を
受け、質疑を行った。

問 今回改正する大きな要因はな
にか。

答 アンケート結果の中で、延長
料金が高すぎて使えないという意
見があるため見直しをする。

問 延長料金だけでなく全体を通して見直さないのか。

答 延長料金の見直しだけであれば、システム改修がいらないため。

問 上限額7,500円を6,000円にした根拠は。

答 上限額は、15日分で算出しており、一日最大400円×15日分の6,000円となる。

問 事業者の意見の中に、延長料金の値下げによって、19時まで利用される方が大幅に増える場合は事業者が職員配置を増やす必要があるため、委託料の増額を協議したいとあるが、どうするのか。

答 大幅に値下げをしすぎて19時までの利用者が増えないようにと考え、30分単位で金額を設定しており、協議の必要のないものと考えている。

反対討論

今回の条例制定は、もう少し時間をかけて取り組む必要がある。

以上、慎重に審査をした結果、議案第1号・議案第2号は原案どおり可決し、議案第3号については賛成少数で否決となった。

〇閉会中の委員会

調査実施日 令和5年8月10日
敬老事業について

敬老事業については、令和2年度には、「ありがとう券」を対象者の方に郵送で配布したが、令和3年度からは自治会等へ事業費を補助している。また、一部の自治会ではイベントや催し物をしているとの説明を受け、質疑を行った。

問 今後、商品券を配るだけで敬老会事業を続けていくのか。

答 イベントや催し物を開催しても、どれだけの人数が集まるのかわからないところもあり、商品券を配るだけで敬老事業と言えるのか疑問であると考え、検討する。

問 今行っている敬老事業は、高齢者にとって有意義な事業になっていると思うのか。

答 商品券を配布する時に高齢者の顔を見て配布するので安否確認等では意義があると考ええる。

問 この予算を公共交通など対象者全員が利用しやすい方向に変えるという決断があると思うが。

答 見直しの時期にきてるという意味も含めて再検討する。

総務建設経済常任委員会

審査日 令和5年9月4日

議案第7号

東かがわ基本構想の策定について

基本構想は、市民・地域・事業者と行政などが共有する、10年後の東かがわ市につながる市政方針の指針であること、また、その構成は将来像・基本的理念・まちづくりビジョンの3要素で定められていることなどの説明に加え、意見の公募方法や、一部変更についての補足説明があった。

問 人口減少抑制対策は重要な施策であり、構想には太い柱で入れるべきと考えるがどうか。

答 個別の具体的な表現や事業の内容については、総合戦略や、基本計画の中で、特に令和7年度以降の国のデジタル田園都市国家構想を踏まえた本市の総合戦略を策定する動きに合わせて、しっかりと織り込んでいきたい。

問 構想に、人口減少抑制対策についての記述がないが、基本構想でどのように考えているか。

答 「人口減少にいかに対応していくかが本市の持続可能性をいか

に担保していくかに繋がる」という視点に立って基本構想をまとめた。

問 災害時の自助、共助、公助のうち、なぜ公助の文言を削除したのか。

答 公助についてはプラットフォームでも示すように、当然すべきものという考え方で外した。

問 旧3町の特長を生かした役割分担による共存共栄の考え方についてはどうか。

答 今回の新構想においては、旧3町によるゾーニングの考え方はなじまないと考える。

全体的には、基本構想の内容そのものについては、概ね評価できるとの意見が多数であった。

これらの議論を踏まえ、慎重に審査をした結果、討論はなく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

総務建設経済常任委員会

〇閉会中の委員会

調査実施日 令和5年8月22日

「白鳥温泉の今後について」

サウディング調査結果の概要について

調査項目	概 要
1 温浴施設再開の可能性について	・温浴施設としての再開は難しい。老朽化が進んでおり、ランニングコストがかかりすぎる。 ・民間に譲渡等するのではなく、引き続き市所有のうえでないと検討出来ない。 ・建物規模が大きすぎるので、小規模な温浴施設に市で建替えた方が良い。 ・建物全体の規模に比べて、浴室部分が小さい。 ・既存建物を改修するにしても相当な費用がかかるので、新築した方が良い。 ・中心部から離れていて、山の中にあるのは商圏的にも阻害要因である。 ・建物の一部が土砂災害特別警戒区域であるのは阻害要因である。金融機関の融資にも影響する。 ・投資しても回収が困難と思われる。 ・地質や泉質は貴重なものがある。 ・リスクを官民で適正に分担できる事業手法が良い。
2 温浴施設以外の新たな施設設置の可能性について	・施設を新設せず、最低限の修繕により、高齢者向けの福祉施設を整備するのが良い。 ・グランピング、キャンプ場などの施設であれば投資額も少なく、可能性はある。 ・キャンプ利用者向けのシャワー設備は整備するが、浴槽は設けない。設けるとランニングコストが増大する。 ・市が既存建物を解体し、更地にしてから無償譲渡すれば参入可能性はある。 ・近郊施設を営業しているので、今後の相乗的な営業の可能性はある。 ・貸付よりも譲渡の方が望ましい。

7月に実施したサウディング調査の内容と結果についての報告を受けた後、質疑を行った。

問 市民の声を再度聞く考えはないか。

答 閉館については議会の結論が出ており、それを受けて今後の対応をお示ししている。

問 再募集をして参入がなければどうするのか。

答 そういうことのないよう、サウディング調査の条件を整えていきたい。

問 転売の可能性がある譲渡よりも貸付のほうが良いのでは。

答 再度サウディング調査を実施する中で詰めていきたい。

問 2回目の調査はどのような形で考えているか。

答 次回は国内のディベロッパー系にも対象を広げ、更地にした条件を加えて募集をしたい。

問 市民の健康増進という福祉の役割を果たしてきた以上、その形を引き継ぐべきと考えるが。

答 厳格な条件を付けずに、可能性を広げて選択肢を残しておきたい。

予算審査特別委員会

付託された議案の主な審査の内容は次のとおりです。

審査日 令和5年9月6日

議案第5号

令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第4号)について

歳入歳出それぞれ8億2,828万7千円を追加し、予算の総額を197億9,660万5千円とする。

各課の主な内容と補正額は次のとおりです。

〔総務課〕

〇人件費を含む2事業について
141万4千円計上

〔財務課〕

〇シェアサービス展開を含む5事業について
6億8,431万7千円計上

〔地域創生課〕

〇タクシーチケット事業を含む3事業について
2,392万5千円計上

〔危機管理課〕

〇災害対策事業を含む2事業について
198万9千円計上

〔保健課〕

〇予防事業について
5,415万3千円計上

〔長寿介護課〕

〇介護保険事業について
190万4千円計上

〔都市整備課〕

〇空き家対策工事を含む2事業について
2,950万円計上

〔学校教育課〕

〇英語教育等推進事業を含む2事業について
160万8千円計上

〔生涯学習課〕

〇歴史民俗資料館運営事業を含む2事業について
2,540万円計上

〔子育て支援課〕

〇子育て支援連携事業を含む2事業について
404万3千円計上

以上、慎重に審査した結果、賛成多数で原案のとおり可決した。



観光振興シェアサービス

官民連携事業として

2,165万7千円を計上

**安戸池をハブ拠点とした
電動レンタサイクル等の整備や
体験型観光商品を企画し情報発信**

**地域資源×地域課題×小規模事の支援
起業家精神の醸成のため
シンポジウムを2回開催**

官民連携事業として

100万1千円を計上

ローカルスタートアップ



タクシーチケット予算を増額

タクシー運賃の改定及び対象者見込みの増により **744万円**追加計上



<主な質疑>

- 問** 免許証を持っていない人の把握は。
答 4000人ほどが免許証を保有していない。
問 当初対象者を1,200人とした根拠は。
答 昨年の実験では20%が利用したことから、今回30%で設定し4,000人にかけて1,200人とした。
問 これまで実証期間中にトラブルはなかったか。
答 大きなトラブルは聞いていない。
問 チケットの事務が簡素化できれば運転手の負担も軽減するのではないか。
答 事務負担が大きいとは聞いている。今後についてはヒアリングしながら考えていく。

こども園 第2子の保育料 半額へ

経済的負担軽減のため
**公立分35万円、
私立分59万7千円**
を計上

<主な質疑>

- 問** 施設用備品に台数について。
答 滑り台1台、平均台1セット、運動マット1セット、乳児用テーブル2台、ベビーベッド1台、授乳用ソファ1台になる。
問 育児相談ができる職員の資格は。
答 保育士を持っている人をあてたい。
問 利用料は有料か無料か。
答 実証実験中は無料で開始したい。本施行についての料金も実証実験中に検証したい。

子育て支援連携として

344万6千円を計上。

[開放日]土日のみ 10:00~16:00

令和5年10月：開設準備・周知開始

令和5年11月：運営開始

[7月31日時点の利用状況について]

申請者数：1,857人

申請率：24.1%

利用者数：689人

利用回数：2,309枚

東かがわこどもひろば 始まります(実証実験)

**ふれんど教室の空き教室等を
土日**に開放し、居場所を提供

詳しくは
インターネットで議会中継を録画配信中!!

東かがわ市議会中継

検索

一般質問全項目

堤 弘行

・市内認定こども園における事故発生状況及びその対応について

久米 潤子

・命名書の交付について

・防災について

・認知症について

工藤 潔香

・中学校部活動の地域移行の進捗状況について

小松 千樹

・GIGAスクール構想による端末の利活用について

・音声コードについて

宮脇美智子

・空き家、空き地の現状と今後の対策について

・タクシー利用による移動困難者等に対する支援策について

・マイナンバーカードの問題点について

山口 大輔

・東かがわ市介護保険事業計画(第9期)におけるヤングケアラーの取り扱いについて

・子どもの居場所づくりについて

橋本 守

・白鳥温泉の今後の利活用について

・ランプロファイヤ遊歩道の整備について

田中 貞男

・住宅密集地の環境改善について

・今後の学校の在り方について

田中 久司

・「東かがわデジタル化推進戦略」について

・スマホを活用した市民連携について

・行政文書のデジタル化について

・「公文書館」の設置について

大田 稔子

・(株)ソルトレイクひけたの運営について

・安戸池周辺の環境整備等について

・道の駅設置について

・空き家リフォーム事業補助金交付要綱について

工藤 正和

・JRR引田駅舎に隣接するトイレの整備について

淀 紀清

・第4次東かがわ市スポーツ推進計画の実現に向けた取組について

・本市における学校給食の食べ方について

東本 政行

・合併後20年間の市政の評価について

・人口減少抑制の対策強化で人口が減らない東かがわ市に挑戦することについて

大藪 雅史

・東かがわ市温水プールにおける管理運営について

・義務教育の完全無償化について

※太字のものを今回紙面に掲載しています。

市内認定こども園における

事故発生状況及びその対応について

重大事故の発生はないが、環境面の改善と併せて事故情報を収集し現場指導に活かしていく



堤 弘行

問 近年の社会構造等の著しい変化を背景として、子どもの健全な成長が図られるよう、こども家庭庁はさまざまな措置を講じている。就学前教育の保育の目標に「環境」「人間関係」「言葉」「表現」「健康」の5領域があり、これらを達成することです。就学前教育のめざす「後伸びする力」が育ち、小学校以降の教育を受けていく基盤ができると言われている。本市においても公立が3園、私立が3園あり、就学前の子どもの教育・保育の質の向上に向けて創意工夫されているところである。本市の事故発生状況は。

答 国への報告が必要となる死亡等の事故は、令和4年度以降これまで発生していない。

問 事故が発生した場合、認定こども園では、どのような対応をしているのか。

答 事故発生時の対応マニュアルにより緊急時の役割分担、連絡体制に沿って応急手当や他園児の安全確保、保護者連絡、医療機関受診まで状況に応じて適切に対応している。

問 事故が発生する要因と再発防止策は。

答 園児による予測不能な突発的な行動が主な要因だが、背景には、園児への安全教育の不足、保育現場の人員配置の問題がある。これまでにないような新しい事故に対しては、目配り気配りのポイントを明記して具体的な対策を考え環境面の改善を含めて再発防止に取り組む。

問 市の指導確認体制は。

答 ヒヤリハットを含めて事故の情報を速やかに収集し、その対策を考え現場の指導に活かしていきたい。

災害応急用井戸の登録について

できるところから検討していく



久米 潤子

問 9月は防災月間である。近年の災害では飲用水以上に、掃除、洗濯、トイレを流す水など生活用水の供給が困りごととなっている。愛媛県宇和島市では、個人や事業者が所有する井戸を「災害応急用井戸」として630本を登録している。本市も登録を進めてはどうか。

答 災害応急用井戸の登録制度は、生活用水の確保に有効である。先行自治体の導入事例を参考に、できるところから検討していく。

問 災害時の停電は、家庭で医療的ケアをしている場合は、医療機器が使えず、命に危険がおよぶ。東かがわ市障害者等日常生活用具給付事業において「発電機」を給付の対象にしてはどうか。

答 発電機は厚生労働大臣が定める日常生活用具の要件を満たしている。医療的ケアを必要とする障がい者等の不安を解消するため、令和6年度より対象とする。

認知症について

問 高齢化が進む日本で、認知症への対応が大きな課題となっている。介護している家族が、公共のトイレの付き添いや、男性介護者が女性の衣料品を購入する際など、介護中であることを周囲に知らせるため「介護マーク」を交付してはどうか。実施に向けて進める。



命名書について

問 赤ちゃんの誕生をお祝いし、名前や生年月日をしたためた「命名書」を交付してはどうか。

答 デザインを構想し、令和6年度より交付を行う。

中学校部活動の地域移行の進捗状況について

スクールバスを巡回させる実証実験を行う



工藤 潔香

問 中学校部活動の地域移行の進捗状況について3点伺う。①現在の進捗状況について。②スクールバスの運行状況について。③現在問題となっている点について。

答 ①本年4月1日に地域移行の受け皿として、市教育委員会を運営主体とする「東かがわクラブ」を発足し、まずは、学校部活動として活動している部から段階的に進めることとしている。また、コーディネーターの配置についても、移行の準備段階に入った全ての種目に配置済みである。②小学校の通学用のスクールバスの空き時間を利用して送迎しており、9月1日からは、利用申請があった生徒には利用証を交付し、利用対象を

広げている。③行事等で小学校の下校時のスクールバスの出発に遅れが生じた場合には、活動開始時刻に影響がでること、今後、地域クラブ活動への移行が進むと、スクールバスを利用する生徒も増え、現在のスクールバスの台数だけでは対応が難しくなることが懸念される。

問 問題として上がっているスクールバスの運行について、どのような対策を考えているか。

答 現在のようなスクールバスの運用形態で今後も継続することには限界があると考えている。そこで、本年10月にスクールバスの時刻表を作成し、市内3中学校を巡回させるという実証実験を行うこととしている。また実証実験の結果、どうしても部活動の移動に支障が出るとの結果が出た場合には、円滑な運用のため、スクールバスの追加購入のお願いをしなければならな

GIGAスクール構想による

端末の活用について

機器の活用をさらに進める



小松 千樹

問 一人一台端末は、不登校、特別支援、病気療養、外国籍等の多様な児童生徒の実情や特性に応じた、誰一人取り残されない学びを保障するうえでも重要で、心の状況を書き込むなどして、いじめの防止にも使うことができるツールにもなる。しかしながら、学校間の利用格差が発生しており、改善に向けた対策が急務となっている。

また、「勉強の役に立つ」と答えた児童生徒の割合は高くなっている。

② 令和2年度に導入したタブレット端末の更新や周辺機器等の整備費用が課題であり、インターネット回線の速度など環境の再整備も必要となり、財政面に課題がある。

③ ICT機器の活用をさらに進めるため、教員のスキルアップ対策を進めるほか、ICT支援員による研修会の実施や授業での具体的な活用方法のサポートなど積極的な対策を講じる。

① 本市の一人一台端末の活用状況について

② 利活用を推進するうえでの課題について

③ 課題に対する今後の対策について

答 ①本市の利活用状況は県平均を下回ってはいるが、経年比較をすると向上している。



空き家、空き地の現状と

今後の対策について

空き家の所有者に対し適正な維持管理を求めていく



宮脇美智子

問 空き家の今後の対策について伺う。

答 空き家の所有者に対し周囲に影響を及ぼさないよう適正な維持管理をもとめていく。中古住宅取得補助事業、空き家リフォーム補助事業などの拡充を図りながら空き家の利活用にもつなげていく。管理不全状態にある空き家の除却に対する支援、老朽危険空き家除却補助事業にも取り組んでいる。

問 管理できない空き地対策は。市民からの苦情・相談を受けた場合にその都度所有者に対して文書、電話等により適正な管理をお願いしていく。

問 現在40歳以下向けの若者住宅取得補助制度があるが、中古住宅を購入する場合に限り、本

制度と同様程度の補助を、年齢層を広げて行う事はできないか。

答 より有効な施策を検討していく。年齢層の引き上げも選択肢の一つとして認識している。

タクシー利用による移動困難者に対する支援策について

問 自動車運転免許証を有しない75歳以上の市民に向けてのタクシーチケットを活用した本事業の今後の継続性について。

答 様々な状況を見極めた上で次年度以降も市内全域を対象にタクシーチケットを活用した事業を実施したいと考えている。

マイナンバーカードの問題点について

問 マイナンバーカードの銀行口座登録に、同意しない方にはその意思表示の提出が必要だがその周知方法について伺う。

答 同意又は不同意の事前通知で回答がなければ同意したものと取り扱われることを市広報紙やホームページで周知する。

ヤングケアラーに関する

介護業界との連携は

新たな疲弊にならないようにすることが重要



山口 大輔

校や子供の支援機関とも連携し、ひとりで負担や課題を抱え込むのではなく、関係者で共有することで負担の軽減を図りたい。

子どもの居場所づくりについて



問 民間団体がこども食堂を定期的に開催している。支援を積極的にに行つては。

答 地域包括支援センターを始めとした関係機関が連携を通じてヤングケアラーを含めた家族支援を行い、介護の負担軽減を図ることであると考えている。市の介護保険事業計画においてもヤングケアラーが見過ごされないよう、関連機関が連携して支える家族介護支援について盛り込む。

問 介護業界とどのような連携を考えているか。

答 現在の業務の範囲で気づきがあれば、関係機関と情報共有が必要なサービスにつなげ、学

問 補助金について、条件の緩和や上限額の増加見直しを行っていくべきでは。

答 県下の情報を参考にしながら制度の見直しについて検討していきたい。

白鳥温泉の今後の利活用は

民間事業者と対話する



橋本 守

か。

問 条件を整え、あらゆる手法を用いて白鳥温泉を利活用すべきだと考える。本年度の補正予算及び来年度の予算も含め、どのようなスケジュール感で進めていくのか。

答 第2回目のサウンディング型市場調査を本年10月までに終了させ、本年度中に利活用計画を策定し、今後の白鳥温泉の方針を決定したいと考えている。また、早ければ建物本体の解体工事に係る設計委託について、本年12月市議会定例会に補正予算を計上する。

問 調査を実施する際、現地を更地にするとともに、白鳥温泉の源泉を利活用するという条件を付して事業化が可能であるのかどうか調査する考えはあるの

答 市による本体施設の撤去の条件を付した上で、源泉を活用した温浴施設再開の可能性と、温浴施設以外の新たな施設設置の可能性について民間事業者と対話することとしている。すでに募集はしており、あわせて国土交通省のプラットフォームを利用したサウンディング型市場調査にも参加し、白鳥温泉の利活用について調査し、スピード感を持ち後戻りのないよう引き続き慎重に進めていく。

ランプロファイヤ遊歩道の整備について

問 国の天然記念物に指定され、貴重な観光資源の岩脈の遊歩道の一部が危険な状態となっており早急な整備が必要と考えるが。

答 国や県の関係機関との協議を進め、対応方法について検討していく。

住宅密集地の環境改善について

狭あい道路整備事業で対応



田中 貞男

問 安全安心のため、住宅密集地の環境改善、三本松地区の道路は改善されていない。スピードアップする必要があるが。

答 積極的に拡幅整備を推進し狭あい道路整備事業で対応する。

問 火災や地震など発生したときに緊急車両が入らない場所や高潮の受けやすい地域に対しての計画については。

答 危険地区警防計画を策定している。自治会単位の防災マップを協議し、更新などする予定である。救助活動機材は配置している。

問 思い切った計画を入れて取り組む必要があるのではないかと、空き家が多くなっているのと、個人の財産をどのようにしていくか慎重にする必要がある。

市の大きな計画に沿った都市計画を考えていく必要がある。

問 今後の学校の在り方について

答 出生数は100人を切っているが、10年後も今の学校数や学校経営で良いと考えているのか。

答 10年後の推計では中学校入学生は125人と想定されている。学校規模の適正化や学校経営の見直しが必要になってくることも考えられる。

問 一学年20人を割る学校などに複式学級や本市独自の教員配置の在り方の検討について取り組んでいく考えは。

答 現在も小中一貫校の体制に加えて様々な支援が展開できる取り組みをしている。準備は進めていく。

問 現状の学校で行くのか、1校に絞った取組みで行くのか。

答 複式学級は避けたいし特色の有る学校にしていきたい。学童期は地域の中で、思春期は同世代が理想と考えている。

「デジタル化推進戦略」の

進捗状況について

本年度での進捗率55%を目指していく



田中 久司

問 戦略策定から1年半経過した現在、優先順位や戦略全体の進捗状況、新たな課題はどうか。

答 29施策のうち、導入可能なものから優先して取り組んでおり、昨年までの11施策に、地方税統一QRコード、RPAの導入など本年度5施策を加え、約55%の進捗率を目指す。また財源措置、デジタルデバイスなど、新たな課題にも対応していく。

問 スマホを活用した市民連携について

答 スマホを活用し、道路や河川、建物、交通安全などの公共施設の破損や不具合の情報を市民が直接行政に通報する市民情報連絡システムの取組みについて、その進捗状況はどうか伺う。現在導入を検討中の「東か

がわアプリ」の共通基盤の上に実装できるようにしていく。

問 「東かがわアプリ」のイメージはどのようなものか、また導入時期はいつ頃の予定か。

答 行政からの情報発信、各種申請手続きなどを一元化し、生活に密着した市民サービスを迅速に提供するために、テレビ、スマホの利用も検討している。

国の交付金が採択されれば、令和6年度の事業化を目指すたい。

「公文書館」の設置について

問 本市の文化・歴史を後世の人たちに伝えていくことは、行政としての責務である。公文書の公開により、市民に対してより多くの文化的、歴史的な情報を提供し、市民のアイデンティティを高め、文化や歴史への関心を喚起できると考える。公文書館の設置を検討してはどうか。

答 すでに公文書館条例のある他自治体での運営状況、人員配置などを参考に、その在り方について調査研究をしていきたい。

道の駅設置について

道の駅に類した整備の必要がある場合は協力やバックアップをしていきたい



大田 稔子

問 道の駅に産地直売所を設置することは産業振興に繋がると考える。関係者団体等との意見交換の場や、運営事業者を公募し収支計画を達成できるような調査等を考えては。

答 市が主体となって関係団体との意見交換の場を開催する予定はない。産直市場のような道の駅に類した整備の必要がある場合は、状況に応じた協力やバックアップをしていきたい。民設民営は非常に画期的であり民間主導で進んでいけばフォローしていく。

(株)ソルトレイクひけたの運営について

問 令和4年度の当期純損失は3,913千円の赤字決算報告である。今後の方向性は。

答 今後の収益改善には新たな事業展開をする必要がある。「小割の生け簀」を設置する。

問 安戸池周辺の環境整備について2025年に瀬戸内国際芸術祭が開催される。環境整備は重要なポイントと考えるが。

答 体験型観光商品の企画やインバウンド向けに観光資源を磨き上げる取組みを行い観光政策として強力に推進していく。

空き家リフォーム事業補助金制度交付要綱について

問 3親等以内の親族又はこれと同等と認められる者から購入、又は賃借する利用者は補助金の交付を受けることができない規定がある。人口減少・空き家対策として対象者を拡充しては。

答 空き家利活用を重視した施策が有効である。利活用を進めるため、3親等以内の親族等も補助対象とし、新年度予算に反映したい。

JR引田駅舎に隣接するトイレの整備について

利便性に配慮したトイレの建設を進めていく



工藤 正和

問 引田駅は香川県の玄関口の一つで、間違いなく市のイメージを担う公共の場であるが、駅舎に隣接するトイレは、いまだに汲取り式の古いスタイルである。JR四国は老朽化を理由に駅舎及びトイレを解体して駅舎だけ建替える計画だと聞き及んでいる。

引田駅周辺は観光資源も多く、引田の古いまち並みは全国的にも注目を浴びている。2025年開催の瀬戸内国際芸術祭における会場が、9月10日開催の実行委員会が決定され、会場に東かがわ市も加わり、引田のまち並みが候補地となったところである。今後、市内外はもちろん、海外からも大勢の人が、引田を訪れてくれることが予想され、

引田駅の重要性はますます高まり、本市の知名度アップ、イメージアップの良い機会が到来するのは間違いのない。重要なのは駅の公共トイレで、その場所のイメージを左右し、集客にも影響を及ぼすと考えられ、防犯や防災の観点から見ても清潔で安心して使える公共トイレが求められている。

観光拠点である引田駅のトイレは、一日も早い整備が必要と考えるが、市長の所見を伺う。

答 瀬戸内国際芸術祭は、国際的なアートの祭典として国内外にも知名度が広く知れ渡っている。市内の公共交通の結節点であり、本市の会場候補地の最寄り駅である引田駅には、多くの観光客の利用が見込まれる。

瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせて、観光面に配慮した駅周辺の整備の重要性は高まっており、JR四国の駅舎の建替えに合わせて、観光客の利便性に配慮したトイレの建設を進めていく。

学校給食を対面式に戻してみてもいいか すぐに全てを戻す訳ではなく、 良い所は残し工夫していく



淀 紀清

問 市内小中学校での、給食の食べ方の現状について。

答 会話の制限は緩和したもの、のまだ対面給食にはしていない。

問 対面給食が戻ってない中どういった取組みをしているのか。

答 音楽を流したり学校行事の動画を編集して流したりなど、お昼の放送を工夫している。

問 今後、対面給食に戻していく予定はあるのか。

答 全て元に戻すのではなく、良い所は残し、工夫した取組みを共有しながら、推奨していく。

第四次スポーツ推進計画の実現に向けた取り組みについて

問 環境整備については今後の課題とあるが進捗はどうか。

答 受益者負担が増大することのないように、引き続き国・県

に対し要望していく。

問 「経済的負担から子供にスポーツをさせてあげられない。」との声を保護者の方から頂いた。スポーツの習い事に関わる助成事業を行ってはどうか。

答 わくわくチャレンジ教室にスポーツ活動を本年度から取り入れるなど、参加しやすい体制を整え、保護者の負担とならないような事業を実施する。「クーポンの交付や現金給付」も一つの方法ではあるが、まずは現状の事業を充実させることで支援していきたい。

問 香川県地域密着型スポーツチームを活用した取組みの現状は。

答 プロスポーツチームの試合の無料観戦及び市イベントなどで交流、本市の特産品の抽選会を継続して実施している。今後プロスポーツチームに協力を頂きながら、試合の観戦や取組みなどの広報・周知を行ってきたい。

合併後20年間で人口減少、 地域の衰退が進んだのでは

合併との因果関係は考えにくい



東本 政行

問 旧引田町、白鳥町、大内町の3町合併で、地域とそこで住む住民の暮らしはどうなったか。

合併前の住民説明会では「サービスは後退させない」との約束だった。しかし庁舎の統合や、9校あった小学校を3校にし、学校がない地域が広がったことなどから「サービスは悪くなった、不便になった」との市民が7パーセント（日本共産党のアンケート結果より）あった。

人口は、この20年間に10、147人も減り、1年平均は500人以上減少している。特に少子化進行と出生者数の減少は深刻で危機的である。合併後の20年間に人口減少で地域の衰退が進んだのではないか。

答 本市の急速な少子高齢化、

人口減少の傾向は他の自治体も同様であり、合併との因果関係は考えにくい。

人口減少抑制の対策強化で人口が減らない東かがわ市に挑戦することについて

問 人口減少は自然現象ではなく政治の責任である。人口減少は非正規雇用で低賃金、安心して子どもを産み育てられない、農業壊しなどを進めた国の責任が大きい。県内には人口減少をくい止めている町などがある。

東かがわ市も学校給食無償化実施などの子育て支援を強め、人口減少を克服する自治体をめざし決意表明をしてはどうか。

答 人口が減らない市になるよう挑戦する決意の表明は、現実的でなく困難であると考ええる。

全国で人口が増えている自治体は減っており、本市の現状を肯定はしないが、人口減少社会を前提として、全てのことを考えなければならない。

東かがわ市温水プールにおける 指定管理料の根拠は

根拠となる経営計画書は公開できない



大藪 雅史

問 指定管理業務と自主事業の区別について、また、指定管理業務の光熱水費、人件費、保守点検費、利用料収入の想定金額はどうなっているのか、自主事業部分はどうかになっているのか。学校教育で使用する場合、また福祉事業で使用する場合の利用料は徴収するのか。すでに指定管理者も決定していることから経営計画書も提出されていると思うので聞きたい。また、自主事業部分の収益は指定管理料から差し引くのか。

答 市が要求している指定管理は建築物や設備の保守管理業務修繕、更新などの維持管理、一般利用受付業務やプール等の監視業務、トレーニングエリア運営業務であり、それ以外で自ら企画し実施するのが自主事業である。指定管理料の積算根拠であるが、国土交通省が公開しているライフサイクルコストや類似施設の状況を踏まえ、適切に金額を算出している。引田の温水プールとは施設内容が異なるのでランニングコストを比較することは難しい。自主事業に関しては、市が求めているものであるため、市の想定金額はない。また経営計画書は提出されているが公表することはできない。

学校授業におけるプールの使用や社会福祉協議会等の福祉目的の使用に関しては、別途、委託契約を行うこととしている。

行政視察



民生文教常任委員会

日程 令和5年7月18日～19日
地域お茶の間創造事業について

滋賀県米原市

米原市は、高齢者をとりまく環境を把握するために聴き取り調査を行い、その結果、高齢者の方々が話し相手や交流を求めていること、自身の健康を心配していること等のニーズが明らかになり、地域でできる支援とコミュニケーションのための場として、誰もが気軽に立ち寄れる居場所、「地域お茶の間創造事業」に取り組み、互助コミュニケーションの構築と地域の活性化を図っている。趣味等の活動を共有できる人が、同じ場所に集まって話し合いをすることで、顔の見える環境を用意して高齢者の介護予防や孤立・孤独を防ぐための活動となっている。本市も高齢者をとりまく環境を正しく認識した上で、居場所づくり等の高齢者の生活支援に取り組む必要がある。

保育園留学について

石川県羽咋市

羽咋市では、新たな関係人口づくりとして、保育園留学に注力している。滞在者の期待に応えられるよう地域の魅力を伝え、移住・定住への誘導を目指すとともに、地域の利益に繋げることを常に念頭に置いて事業に取り組んでいた。本市でも、今年度より同事業をスタートしている。今回の視察を参考に、確実に地域の利益に繋がっているか、注視していきたい。

敬老事業について

福井県福井市

福井市では、地域社会の発展に貢献された高齢者の長寿を祝い敬意を表すため、75歳以上の高齢者に1人500円程度の品物を送っている。本市も敬老事業として、1人1,000円程度補助しているが、自治会の負担も増している。福井市でも同様の課題があるとのこと、高齢者への施策の見直しと並行して、事業の在り方について検討が必要である。

令和5年東かがわ市議会 第5回(7月)臨時会 議員の賛否表

議員名		議決 月日	議決 結果	賛 成	反 対	小 松 千 樹	堤 弘 行	淀 紀 清	安 倍 正 典	久 米 潤 子	工 藤 正 和	田 中 久 司	工 藤 潔 香	宮 脇 美 智 子	山 口 大 輔	大 田 稔 子	田 中 貞 男	橋 本 守 守	東 本 政 行	大 藪 雅 史
議案名																				
議案第1号	東かがわ市体育施設設置条例の一部を改正する条例の制定について	7/25	可決	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第2号	令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第3号)について	7/25	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	指定管理者の指定について(東かがわ市湊コミュニティセンター)	7/25	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

令和5年東かがわ市議会 第6回(9月)定例会 議員の賛否表

議員名		議決 月日	議決 結果	賛 成	反 対	小 松 千 樹	堤 弘 行	淀 紀 清	安 倍 正 典	久 米 潤 子	工 藤 正 和	田 中 久 司	工 藤 潔 香	宮 脇 美 智 子	山 口 大 輔	大 田 稔 子	田 中 貞 男	橋 本 守 守	東 本 政 行	大 藪 雅 史
議案名																				
議案第1号	東かがわ市手話言語条例の制定について	9/22	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	東かがわ市障がいのある人の情報保障及びコミュニケーション手段の利用促進に関する条例の制定について	9/22	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	東かがわ市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について	9/22	可決	8	7	○	○	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	○	○	●
議案第4号	東かがわ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	9/1	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第4号)について	9/22	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和5年度東かがわ市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	9/1	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	東かがわ市基本構想の策定について	9/22	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第8号	訴えの提起について	9/1	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	指定管理者の指定について(東かがわ市温水プール)	9/1	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第10号	令和5年度東かがわ市一般会計補正予算(第5号)について	9/22	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	工事請負契約の締結について(令和5～7年度 古川ポンプ場除塵機設置工事)	9/22	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	9/1	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ・「○」は賛成、「●」は反対した議員です。
- ・議長(渡邊堅次)は可否同数の場合のみ裁決権があります。
- ・諮問第1号… 岡本 和士 氏

編集後記

夕方になると、風に乗り、遠くから聞こえてくる鐘や太鼓の音に心ざわめかせながら、本格的な秋の訪れを感じています。

本市も今年で市制施行20周年を迎えました。そして10月から、待ちに待った本市出身の笠置シズ子さんがモデルのNHK朝ドラ「ブギウギ」が始まりました。さらに、2年後の瀬戸内国際芸術祭の会場に本市が選ばれるという朗報も届きました。今、風向きが少しずつ変わりつつあります。

この追い風をしっかりと掴み、この人情味あふれる自然豊かで美しい東かがわの魅力を全国に発信していくことで、多くのお客様が、わがまち東かがわを訪れ、ファンになってくれればと、心から願うばかりです。

これからも、議会として、しっかりとその後押しをしながら、わがまち東かがわを盛り上げていきたいと思えます。

田中久司

市民の皆さん、議会を
傍聴してみませんか。